

第16回オープントーナメント全福島空手道選手権大会

『第1回全日本ジュニアファイナルカップ選抜大会』申込案内

1. 出場資格 道場稽古ならびに日常生活において粗暴な振る舞いをせず、
武道空手の大会出場に相応しいと道場責任者が推薦した門下生。
2. 出場部門 別紙を参照
3. 申し込み 顔写真1枚(4×3cm)を参加申込書に貼付ける。
4. 参加費 1部門参加 6,000円
2部門参加 7,000円

※中学生以上は2部門の参加が可能。

※「自然災害」、「緊急事態宣言」などにより会場が利用出来ないなど、やむを得なく大会延期、又は、中止となる場合もあり得ます。

その場合、大会開催1ヶ月前の(8月26日)を過ぎた時点で半額の返金となります。

それ以外は、事務手数料(1,000円/1名)を差し引いた金額の返金とさせていただきます。

※コロナ対策などの問題で、会場や日付の変更が生じるかもしれません。

日付変更に伴う欠場の際は全額返金致します。

5. 選手保険 「スポーツ保険」などへの加入は、各自道場での加入をお願いします。
主催者側は、試合中の負傷・事故等が生じた場合の責任は一切負いません。

6. 申込締切 令和3年7月31日(土)
※ 申し込み用紙、参加費を添えて、道場一括でお願いします。
※ 選手側の都合による棄権の場合、参加費は返金できません。
※ 大会参加費は現金書留にて、郵送して下さい。

少年少女全国選抜 空手道選手権大会

「第1回全日本ジュニアファイナルカップ大会」出場権について

福島県大会は、一般社団法人国際空手道連盟世界総極真が2022年2月に開催する「第1回全日本ジュニアファイナルカップ大会」の選抜大会です。

日付：令和4年2月5日(日)

場所：横浜武道館(2階アリーナ)

対象：①各選抜大会の上位4名。

②出場権を得ている選手と対戦し、準々決勝で敗れた者

H P：http://www.kyokushin-junior-finalcup.com

※権利者は世界総極真の「全日本ジュニアファイナルカップ公式ホームページ」を参照して下さい。

部門：幼年～高校生の部

主催：(社)国際空手道連盟 極真会館 世界総極真

主管：(社)国際空手道連盟 極真会館 釘嶋道場

《 判定基準について 》

「組手の勝敗の判定」

組手の勝者は、「一本勝ち」、「判定勝ち」、「相手選手の失格」、「棄権による勝ち」、により決定される。

【一本勝ち】

- 反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させた場合は一本勝ちとする。

【技有り】

- 反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手が一時的にダウンもしくは戦意喪失し、3秒以内に立ち上がった場合。またはそのダメージにより一時的に動きが止まったときや、大きく崩れた場合。
- 足掛け、または前蹴りや下段の合わせ技で相手をきれいに倒したときは技ありとする事も有り得る。
- 技あり2本で合わせ一本勝ちとする。

【判定】

- 一本勝ち、失格がない場合は判定で決定する。
- 判定は主審1名、副審4名のうち、3名以上の審判の判断を有効とする。3審制の場合は副審2名、主審と合わせて2名以上の判断を有効とする。

【延長戦】

- 判定で主審1名、副審4名のうち、3名以上の審判の判断がない場合は引き分けとし延長戦を行う。3審制の場合は上記の「判定」内容と同様。
- 延長戦で決着が付かない場合は体重差により軽い方を勝者とする。
- 体重差でも決着が付かない場合は最終延長戦にて勝者を決定する。

【反則】

- 次の場合は反則とする。
 - ①手技による首から上へ(首をふくむ)の攻撃。
 - ②金的蹴り、頭突き。
 - ③倒れている相手への攻撃。
 - ④背後からの攻撃。
 - ⑤掌底押し、正拳押し、つかみ、投げ、手掛け、クリンチ。
 - ⑥技の掛け逃げ。
(蹴ってすぐに倒れる等を繰り返す)
 - ⑦何度も場外に逃げた場合。
 - ⑧その他、審判が特に反則とみなした場合。
- 反則は悪質なものを除き注意が与えられる。悪質な反則の場合、失格も有り得る。

【減点】

- 次の場合は減点1とする。
 - ①注意を2回与えられた場合。
 - ②悪質な反則を行った場合。
 - ③審判の判定により、悪質な試合態度とみなされた場合。

【失格】

- 次の場合は失格とする。
 - ①減点2となった場合。
 - ②試合中、審判員の指示に従わない場合。

- ③粗暴な振る舞いや悪質な試合態度とみなされた場合。
- ④見合ったままの状態でも1分以上経過した場合。この場合は戦意喪失として、両選手とも失格とする。
- ⑤応援態度が悪質で目にあまるときは選手の減点または失格も有り得る。
- ⑥試合の順番に遅れたり、出場しない場合。

「型の勝敗の判定」

【判定基準】

- 型の大意は、以下の六項目から成り立ち、その優劣を競うものとする。
 - ①正確さ
 - ②力の強弱(パワー)及び気迫
 - ③身体の伸縮、転身
(スピード、ジャンプ力、バランス)
 - ④技の緩急(リズム、メリハリ)
 - ⑤息の調節
 - ⑥型の「流れ」と表現力

【失格】

- 次の場合は失格とする。
 - ①規程の型と演武している型が違った場合。
 - ②動きを忘れ完全に止まったり、三度以上型を間違えた場合。
 - ③直ちに修正出来ないくらい、完全にバランスを失ったり、倒れたりした場合。
 - ④著しく覇気に欠け精彩がない場合や、道場生らしからぬ態度が認められた場合。

【減点】

- 減点5の基準
 - ①立ち方、部位の形、技などにおいて極端な癖があり、それらが明らかに不正確な場合。
 - ②技の脱落や気合いのかけ忘れ、技の順序や方向など、一度でも型を間違えた場合。
 - ③力の抜き差しが全くなく、かつ、必要とする瞬間に力が一点集中していない場合。
 - ④仮想敵を捉えておらず、目付けが不正確な場合。
 - ⑤直ちに修正は出来たが、大きくバランスを失った場合。
 - ⑥技の緩急やリズムがなく、型の「流れ」が単調で、全くメリハリがない場合。
- 減点3の基準
 - ①立ち方、部位の形、技などにおいて若干正確性に欠ける場合。
 - ②気合いが小さく、覇気が認められない場合。
 - ③無駄な「カミ」により、若干技の乱れを誘発している場合。
 - ④微妙なバランスの崩れがあり、安定感がないと見受けられた場合。
 - ⑤技の緩急やリズムがなく、型の「流れ」に若干メリハリが足りない場合。

●減点1の基準

- ①覇気は認められるが、若干気合いが小さい場合。
- ②動作と呼吸の調和が、若干乱れていた場合。
- ③安定感はあるが、微妙なバランスの崩れが見受けられた場合。
- ④残心が疎かになった場合。
- ⑤動作における一瞬の躊躇、必要以上の「間」など、型の「流れ」に若干の淀みがある場合。

【試合放棄】

- 正当な理由なくして試合を放棄した時は、15万円以下の弁償金を支払わなければならない。
ただし、下記の場合は例外とする。
 - ①大会医師の診察を受け、試合続行不可能となった場合。
 - ②大会直前または大会中に、本人に関係する不慮の事故（家族の不幸など）が発生し、審判長・審議委員長・大会弁護士が協議の上、退場を許可した場合。

◀ 出場部門について ▶

1. 幼年組手の部(未就学児)

- 年少～年長（男女混合）

2. 少年少女組手の部(小学1年生の部～6年生の部)

- 1年生の部～3年生の部（男女混合）
- 4年生の部～6年生の部（男女別）

3. 中学生・高校生・一般・シニア組手の部

●女子

- 中学生女子の部(50kg未満は軽量級、50kg以上を重量級)
- 高校生女子の部(52kg未満は軽量級、52kg以上を重量級)
- 女子シニアの部(35歳以上)
- 一般女子の部(53kg未満は軽量級、53kg以上58kg未満は中量級、58kg以上を重量級)

●男子

- 中学生男子の部(55kg未満は軽量級、55kg以上を重量級)
- 高校生男子の部(65kg未満は軽量級、65kg以上を重量級)
- 男子シニアの部(38歳以上)
- 一般男子の部(65kg未満は軽量級、65kg以上75kg未満は中量級、75kg以上を重量級)

※出場人数が少ない部門においては、統合または中止も有り得る。

※軽量の選手は、開会式までに計量を行って下さい。

○計量は、本部司会席の後方で行います。空手着を脱いで計量しても可能です。

○計量の結果、規定体重より1キロ以上上回った場合、全試合減点1とします。

軽量級出場者は、無理な減量をしないように気を付けて下さい。

4. 型の部(中学生以上が対象で男女混合) ※フラッグ式により行います。

※規定型Ⅰ……平安そのⅡ。

※規定型Ⅱ……撃砕大、撃砕小、最破、征遠鎮、臥竜、十八、観空、五十四歩から選択。

演武する型は、基本的に極真会館にて制定している種類に限る。

ただし、それら以外の型でも審判員が型講習会等で既に修練している型であれば特例も有り得る。(詳細はお問い合わせ下さい。)

※予選……規定型Ⅰを演じ、2名ずつ行う。

※本選……準準決勝からの試合は規定型Ⅱを演じ、1名ずつ行う。

【試合時間】

◆幼年・小学生の部・中学生の部

本戦 1分30秒・延長 1分・再延長 1分・体重判定・最終延長 1分	体重判定 3 kg 差以上を有効
------------------------------------	------------------

◆高校生・女子・シニアの部

本戦 2分・延長 2分・再延長 2分・体重判定・最終延長 2分	体重判定 5 kg 差以上を有効
---------------------------------	------------------

◆一般の部

本戦 2分・延長 2分・再延長 2分・体重判定・最終延長 2分 (準決勝以降は、本戦 3分)	体重判定 5 kg 差以上を有効
---	------------------

※全部門において体重判定で規定の差がない場合は、最終延長戦を行う。

【防具規定及び注意事項】

部 門	頭	拳	脛	膝	胸（下記参照）	金的	マウスピース
幼年の部	○	○	○	任意	×	○ (女子は任意)	任意
小学生の部	○	○	○	任意	小学4年生以上の 女子は任意	○ (女子は任意)	任意
中学生の部	○	○	○	任意	女子は任意	○ (女子は任意)	任意
高校生の部	×	○	○	任意	×	○	任意
女子の部	×	○	○	任意	任意	任意	任意
シニアの部	×	○	○	任意	女子は任意	○ (女子は任意)	任意
一般の部	×	×	×	×	×	○	任意

- ※ サポーターは各自で用意する事。
- ※ ヘッドギアは、主催者側でも準備しますが、衛生面を考慮して、各自のものを着用することが望ましい。
ヘッドギアは全面にガード(樹脂素材、軽金属素材)があるもの。無いものは使用禁止とする。
ヘッドギアは飛まつ防止対策のためのフェイスシールド、マスクの着用は任意とする。
- ※ 拳、脛、膝は布製のサポーターとし、グローブは認めない。
- ※ 脛サポーターが膝を被う場合、膝サポーターは使用不可。また大腿部までガードされる形は認めない。
- ※ プラスティック製チェストガードは使用禁止とする。イサミの樹脂製：型番 t t -28
(<https://isamishop.com/shopdetail/000000000222/ct120/page1/recommend/>)を使用可能とし、
それより柔らかいものやスポンジ製のみ着用。腹部にかかる形は使用禁止。
- ※ 度を越した毛染め、装飾（指輪、ミサンガ、イナズマ等のライン含む）や「帯止め」は認めない。
- ※ 選手は爪を短く切り、手足に何も持たない・つけない。
- ※ 過度の刺繍等が付いている道着の着用は認めない（原則、胸の道場名の刺繍及び道場ワッペンのみ）。
- ※ ゼッケン（後日郵送します）は縫い付ける事。ガムテープなどは認めない。
- ※ テーピング類は、大会医師の許可が必要。
- ※ 判定に対する抗議は一切認めない。
- ※ 試合中の負傷又や事故が生じた場合、主催者は一切責任を負わない。
- ※ 武道空手の大会です。礼節ある応援と観戦をする事。